

銀 杏 中 毒 を 疑 っ た 犬 の 1 例

藤 将大^{1)†} 有田汐紗¹⁾ 太田貴子²⁾ 富永博英²⁾
平川 篤^{1),3)} 杉山伸樹^{1),4)}



本文はこちら
https://www.jstage.jst.go.jp/article/jvma/76/11/76_e304/_article/-char/ja

- 1) 福岡県 開業 (福岡夜間救急動物病院: 〒 812-0858 福岡市博多区月隈 5-2-40)
- 2) 福岡県 開業 (福岡中央動物病院: 〒 810-0035 福岡市中央区梅光園 2-15-14)
- 3) 福岡県 開業 (ペットクリニックハレルヤ粕屋病院: 〒 811-2304 糟屋郡粕屋町大字 仲原 2544-1)
- 4) 福岡県 開業 (海の中道動物病院: 〒 811-0201 福岡市東区三苦 6-2-31)

(2022 年 12 月 22 日受付・2023 年 7 月 28 日受理・2023 年 11 月 14 日公開)

要 約

14 歳 10 カ月齢, 去勢済雄のイングリッシュ・コッカー・スパニエルが, 嘔吐と四肢の振戦を主訴に夜間救急動物病院を受診した。来院時は起立不能及び意識は傾眠状態で, 稟告及び吐物の内容によりイチヨウ種子である銀杏による中毒を疑い, 入院管理下での治療を開始した。ビタミン B₆ 製剤の投与や対症療法を行い, 治療開始 9 時間後には意識状態の改善並びに自力での歩行が可能になるまで回復した。治療開始 11 時間後に退院とし, 受診 11 カ月後現在までに症状の再燃は認められず, 良好に経過している。——キーワード: 犬, 銀杏, ビタミン B₆。

----- 日獣会誌 76, e304 ~ e308 (2023)